

令和8年1月7日

お客さま 各位

大垣西濃信用金庫

社長等になりすましたメールや、LINEグループ作成を要求する詐欺メール  
にご注意ください

企業の「社長」や「役員」になりすまし、「株式会社〇〇」（受信した会社名）や、「会社内部事項に関するお知らせ」というようなタイトルで詐欺メールを送信し、従業員（特に財務担当者）にLINEなどSNSグループの作成とQRコードの送付を要請する不審メールが、全国で確認されています。

QRコードを通じてLINEグループに侵入した後、マルウェアを仕込んだサイトへの誘導、不審なソフトのダウンロード、また個人情報や法人預金口座情報等の機密情報の詐取や、インターネットバンキングによる送金指示が行われますが、このような指示は全て詐欺につき、絶対に対応しないでください。

社長や役員になりすました詐欺メールは、企業や従業員のみでなく、個人のお客さまに対しても送信されていることが確認されています。不審なメールを受け取った場合は、開封したり返信したりせず、送信元が正しいか必ずご確認ください。

## 記

### <詐欺メールに使われる手口>

- ・ 経営者や上司になりすまし、「急ぎで対応してほしい」と振込や情報提供を求める。
- ・ 本物に似たメールアドレスを悪用して、正規の連絡に見せかける。
- ・ LINEグループの作成など、外部サービスへの誘導を行う。

#### 【事例①（振込を指示する詐欺）】

件名：至急振込してください

差出人：社長を装った偽アドレス

内容例：商談に必要なため、至急振込をお願いします。

手続きは後回しで構いません。戻ったら説明します。

振込先：〇〇株式会社 金額：〇〇,〇〇〇,〇〇〇円

※「至急」「会社に戻ったら説明する」などは、詐欺メールでよく使われる言い回しです。

【事例②（LINEグループ作成を依頼する詐欺）】

件名：社名を記載した偽メール

差出人：社長を装った偽アカウント

内容例：お疲れ様です。 業務利用のため、新しいLINEグループを作成してください。

完了したら招待QRコードを返信願います。 代表取締役社長 ○○

※ 会社では通常使用しない外部SNSへの誘導は、要注意ポイントです。

＜被害に遭わないためのポイント＞

- ・ 差出人のメールアドレスを必ず確認する。
- ・ 内容に不自然な点があれば、正当な相手（自社の社長等）に直接電話で確認する。
- ・ 添付ファイルやリンク先を不用意に開かない。
- ・ LINEなどSNSグループの作成指示には絶対に従わない。
- ・ 不用意に口座情報や個人情報を教えない。

以上